

# あゆみ 歩

文京区立文林中学校第三学年  
2018年4月17日(火)  
第78号

## 第3学年「最高学年を最高の学年に！」

1学期のテーマは、「**リーダーシップ**」です。

先週から正規時間割となり、本格的に授業がスタートしました。先日の道徳で1学期のテーマである「リーダーシップ」について話をしました。リーダーシップとは、「目標」「やりたいこと」「挑むべきこと」など、みんなが進むべき道を指し示し、導く立場にある人のことを言います。最高学年として、後輩を引っ張っていけると良いです。



### 始業式

「変化はチャンス！」



校歌の指揮をしています。

### 対面式

委員長が新生入生に委員会の活動を説明しています。



アイスブレイキングの様子です。お互いコミュニケーションをとって、時計まわりで名前順に並んでいます。



しゃべらずにジェスチャーで誕生日順に並ぼうとしています。



## 正規時間割がスタート！

4月13日(金)から、正規時間割がスタートしました。授業担当の先生をお知らせします。

| 教科 | 先生     |        | 教科 | 先生    |
|----|--------|--------|----|-------|
| 国語 | 田邊 しのぶ | 難波江 康正 | 社会 | 小平 悠海 |
| 英語 | 鶴山 裕有未 | 高草木 直子 | 理科 | 川島 紀子 |
| 数学 | 白土 潤   | 霜越 恒子  | 音楽 | 加藤 涼子 |
| 体育 | 本橋 睦生  | 福島 美由紀 | 技術 | 森下 法樹 |
| 家庭 | 畑中 寛子  |        | 美術 | 大島 秀信 |

## 作文「最上級生になって」

私は、「三年生」と聞くと最初に思い浮かぶのは受験のことだった。まわりの大人からも勉強や受験のことばかりを聞いていて、私の頭には受験のことしかなかった。しかし、入学式に参加して、その考え方が少し変化した。

最上級生と言えば、印象に残っているのはやはり今の高校一年生である昨年の三年生だ。昨年の三年生から学んだことは多くあるが、私たちにできることがあるのだろうかと考え、だんだん不安になってきていた。そんなときに勉強の話を出され、まずはこちらからやってみようと思、最上級生としての自覚をもたずに春休みを終えてしまった。始業式を迎えても、最上級生としての自覚がもてていなかった。しかし、入学式の一年生を見ると自覚がもててきた。プラカード係であった私は入学式前の一年生を見ていたが、会ったばかりなのに、みんな仲良く話していて「ああ、大丈夫だな」と思った。だが、本番になると、とても緊張していて失敗してしまった人もいた。そんな姿を見て、私たちが一年生を支えていかなければいけないのだと感じた。そこでようやく私にも「最上級生としての自覚」をもつことができた。元気で良い子が多く入ってきてくれたので、今年の行事は確かに人数は昨年よりも少ないが、工夫を重ねればもっとよりよいものができると思う。最初は慣れない学校生活に困ることが多くあると思う。そんなときは、上級生の私たちが聞かれなくても助けてあげられるようになりたいと思う。また、部活動でも頼ってもらえるような先輩になりたい。

これからの学校生活で私たちが引っ張っていかなくてはならないことは多くあると思う。行事や委員会などもその中に含まれると思うが、まだまだ私たちでは至らないところもあると思う。そんなときは学年関係なく助け合うことが大切だ。

この学校をよりよくするために、一、二、三年生の関わりを深め、団結し合っていきたいと思う。